



## 《 高等部 8組 生活単元学習 学習指導案 》

日時：H13年2月7日(水)

13:00～13:45

場所：コンピュータ室

授業者：古池 浩

### 1 単元名 パーチャルトリップ (旅行に行こうよ)

#### 2 単元設定の理由

##### (1)生徒の実態から

本学級は4名(男子2名女子2名)で、1年生2名、2年生1名、3年生1名でスタートした。本校中学部から1名、中学校から1名が入学、高等学校から病気や不適應等の理由で2名が編入学してきた。市内在住が3名、近隣在住が1名。個々の生育歴や病種・障害が異なる中で、ともに学校生活を送りながら、自立に向けて課題に取り組み、明るく生活している。

生徒の病気は、てんかん・橋本病等の慢性疾患や神経症で、学力は小学校低学年程度である。生徒の多くはこれまでの生活経験の不足や自己受容・自己尊重、達成感や満足感を得た経験が少ないため、一人で課題に向かうことに不安や抵抗があり、なかなか体験が広がらない。集団への苦手意識や課題からの逃避、病気による体力不足もあり、認められているといった意識、興味・関心や意欲がもてなくなってしまうがちで、自己中心的な思考にも陥りやすい傾向が見られる。

このような生徒に共通して願うことは、持てる力を発揮しグループで協力して課題に向かう中で、協調性を養い達成していく楽しさや充実感を味わうこと、また、卒業後は施設入所が考えられるため、5～10名程度の集団の中で安定して生活できること、そして生活を楽しんで送れることと考える。

##### (2)単元の意義から

高等部での生活単元学習は、これまでの生活経験をもとにして将来を見据えたものであることが望ましいと考える。それぞれが今までの生活の中で培ってきた生活力をベースに身近な社会制度やその利用方法を身につけ、自立をめざし、仲間と共に生きていってほしい。そのためにこれから(将来)の生活に結びつけていける題材を選び、個々の力や特性にあった課題に向かう中で、生活を家庭から地域へと広げていきたいと考える。また、4名の集団をベースとした学習形態で、お互いに助け合い、認めあう場面を通して、豊かな人間関係を築ける力をつけたい。

一学期には、学校からいつも見えながらもなかなか登ることができない金華山登山の計画を立て、岐阜公園までバスで行き金華山に登るなど自発的な活動が多くできた。この取り組みにおいては、インターネットで地図を検索して貼りあわせて、位置関係の把握や地図記号についての学習を行った。二学期には、岐阜市内に地図を広げていくことで、市役所などの公共施設と自ら生活との関わりについての学習を深め、インターネットなどで各施設の資料を収集しまとめ、プレゼンテーションで互いに発表しあうことで理解を深めさせた上で、実際に公共施設を利用する学習を行ってきた。



二学期後半に、将来施設入所が予想されていた生徒(2年)が、現実問題として途中退学し施設に入所することとなった。施設入所後には、集団で旅行する機会が多くあると思われるが、その旅行をより楽しいものとしていくためには、旅行での目的をより明確にすることが必要であると考えた。目的は個々様々であるが、目的を見いだすための方法や手段について学習をする必要があると考え、本単元を設定した。

### 3 単元目標

- ・ インターネットを利用して目的地を調べることができる。
- ・ 必要な資料を取捨選択し、メモやファイルに保存することができる。
- ・ プレゼンテーションで互いに簡潔に発表することができる。

### 4 単元計画

目的地を想定しよう	3h	
目的を検索しよう	3h	
調べたことをまとめよう	6h	
発表しよう	2h	全 14時間



## 5 本時の展開

本時の目標	・インターネットで必要な資料を検索することができる ・プレゼンテーションにまとめる	A男(1年)	B女(1年)	C女(3年)
		<b>当番の号令のもと元気よく挨拶する(体調等に気をつける)</b>		
活動の流れ	あいさつ	<b>前時の活動を思い起こし、本時の活動を予想する</b>		
	本時の課題と活動を知る	・パソコンを使うことを予想し、前時のことを思い出す これまでの活動に対して評価し、意欲がもてるように支援する	・前時を思い出し、パソコン操作や発表に対して不安を示す 援助があることを示すとともに、尋ねながら進めるように支援する	・前時の内容を思い出し、本時の課題に興味を持って取り組み姿勢を見せる これまでの活動に対して評価する
	PowerPointでまとめる	<b>データを読み込み、個々に本時の活動内容を確認して作業する</b>		
		・Internet Explorer(またはひらがなナビ)を使用して、検索ページで目的地を探す 一つに絞込み、じっくり見るように声がけする PowerPointへの入力を順次促し、作業スピードを速めるようにする 写真などの貼り付け方法について不明な点を支援者に聞く 著作権についても触れながら操作方法を支援する	・Internet Explorer(またはひらがなナビ)とPowerPointをあわせて立ち上げて、必要なキーワードを入力する ・ローマ字がわからなくなると入力がいやがる 不明の場合、一緒に一覧表で調べるなどの支援をする ・写真の選択で迷い作業が進まない 自分だけでなく他の人が知りたい資料について気づかせる	・Internet ExplorerとPowerPointをあわせて立ち上げて、必要なキーワードを入力する ・ローマ字で入力することを心がける ローマ字が不明の場合、一覧表で調べるように支援する ・複数のスライドを作成する ひとつの資料だけでなく、他の資料にも目を向けるように促す
	本時のまとめ	<b>データを保存し、個々に本時の活動内容を発表する</b>		
		姿勢態度を中心に評価する	次時の活動内容を明確にしておく	友達の作成内容も見るように促す
	あいさつ	<b>当番の号令のもと元気よく挨拶する</b>		